地域の話題を
お届けします

しずおか Topics

清流の都・静岡　清流の都・静岡創造推進協議会

【清流便り】日本の滝百選の一つ「安倍の大滝」
梅ケ島の原生林の中で滝音を響かせています

静岡市大沢地区が舞台の映画「ちいさな、あかり」先行上映会に監督の大野隆介さんが来静

上映後、大沢地区のお茶を飲みながら歓談する静岡市長・田辺信宏さんと監督・大野隆介さん（正面）

静岡市葵区大沢地区を舞台にしたドキュメンタリー映画「ちいさな、あかり」が、静岡シネ・ギャラリー（静岡市葵区御幸町11ノ14）で、8月16日(金)まで、連日午前10時10分から公開中です。

先日、先行上映会が開催され、監督の大野隆介さんと助監督の稲葉雄介さんが舞台あいさつを行いました。

「撮影では、何を撮るのかを事前に決めないで、助監督と2人で村をまわりながら、その日に出会った人々の瞬間を捉えました」と大野さん。

約4カ月間、村の生活を追った作品には、大沢地区の豊かな自然と、その中で共に暮らす人たちの生き生きとした生活が映し出されています。

タイトルの「ちいさな、あかり」は、大野さんが、早朝に見た村の風景からつけたそうです。この地域で営まれる、飾らないありのままの生活を見つめることで「人の幸せな暮らし」について考えることができるドキュメンタリー作品です。

先行上映会には、静岡市長の田辺信宏さんも訪れました。映画観賞後、大野さんやスタッフと一緒に大沢地区のお茶を飲みながら歓談し、「日本の原風景が、静岡にあるのでは…」と感想を述べました。

☎054(250)0283

ちいさな、あかり
大野隆介 監督作品

「ちいさな、あかり」のチラシ

「平成の駿府城をつくる会」主催　静岡産業大学特任教授　中村羊一郎さんの講演会

講演をする静岡産業大学特任教授・中村羊一郎さん

100年をかけて平成の駿府城をつくることを目指す、「平成の駿府城をつくる会」（代表・宮城嶌弘正さん）は、6月20日(木)、静岡市常磐町のアイワビルで、「駿府城再建論と歴史博物館について」と題した講演会を開催しました。

講師の静岡産業大学特任教授・中村羊一郎さんは83人の参加者を前に、「駿府城を再建する過程を見せることによって人が集まり、観光資源となる」「失われていく静岡市の資料や文化財を集めて保管するために、歴史博物館が必要」など、静岡の歴史を大切にし、町を活性化する方法について話しました。

参加者からは、「わかりやすく面白かった。具体化するのは容易ではないが、みんなの力で実現させたい」と感想が述べられました。

県下14校が集結して熱い気迫で応援パフォーマンス「第2回県高校応援団フェスティバル」

日ごろ運動部などの試合で選手たちの応援に徹する応援団やチアリーディング部の部員たちに、「日ごろの努力を発表する場を提供したい」という思いから、6月23日にグランシップ・大ホールで開催された「第2回静岡県高等学校応援団フェスティバル」。

この日の主役は、応援団とチアリーディング部。県内にある14の高校の応援部が参加しました。各高校の校歌が流れると、ゆかりのある観客が立ち上がり、涙を流しながら歌う姿も見られました。約2400人の観客が、熱い気迫あふれるパフォーマンスにエールを送りました。

また、前日の22日は、JR静岡駅北口広場や、葵スクエア、青葉イベント広場でプレイベントを実施。応援演技の披露やトークショーが行われました。

来年6月には3回目を行うことを発表。今後は、静岡市での「応援団フェスティバル」全国大会開催を目指すそうです。

応援団フェスティバル
6.23

気迫あるパフォーマンスを披露

携帯サイトで消費生活に関する
情報を掲載しています
静岡市消費生活センター
☎054-221-1056（相談専用）
●専門相談員による相談時間●
月～金（祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時
http://shouhi-s.jp/
静岡市消費生活センターイメージキャラクター
「かいけつ！ハナミン」

静岡市在住の人形作家の元気な女の子を表現した作品がヨーロッパで展示

杉山めぐみさん作「SAKURA」を見て、元気をもらう参加者

桜の木の下で元気いっぱいの女の子を表現。桜の〝パワー〟をもらった女の子で、見る人を元気にしたいという思いで作られた人形が「SAKURA」。静岡市在住の人形作家・杉山めぐみさんが作成したものです。

この愛らしい人形が、今年14回目の、7月に開催されたヨーロッパ最大の日本文化の祭典「Japan Expo 2013」に出品されました。「自分の大切な人形を世界の人に見てもらえて光栄でした」と杉山さん。今後の活躍が楽しみです。

静岡リバティライオンズクラブが「薬物乱用防止教室」を開催

静岡リバティライオンズクラブ（会長・岡田弘さん）は、7月10日(水)、静岡市駿河区の静岡市立城山中学校で、「薬物乱用防止教室」を開催しました。

これは、同クラブが行っている青少年健全育成活動の一環で、静岡市内の中学生を対象に、「薬物乱用とは何か」「危険のある薬物とは何か」「乱用するとどうなるか」…薬物の正しい知識を身につけてもらおうと、平成20年から毎年実施しているものです。

教室では、薬物乱用防止教育認定講師の下地英機さんが、薬物の種類や体と心に及ぼす影響などを詳しく話しました。生徒からは「薬物の怖さがわかった」「薬物には、絶対に手を出したくない」などの感想が寄せられました。

大麻＝マリファナ
コカイン

薬物乱用防止の講演をする、講師の下地英機さん

産經新聞
購読のお申し込みは
0120-34-4646

チャレンジ！ 漢検

平成25年度第2回
日本漢字能力検定
10月27日

10月27日(日)、平成25年度第2回「日本漢字能力検定」1～10級が実施されます（主催／日本漢字能力検定協会）。会場はリビングカルチャーセンターほか。現在、申し込みを受け付け中です。

漢検は、単に漢字を「読む」「書く」という知識量だけでなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力も測ります。1・準1・2・準2・3～10級の12段階に分かれているので、自分に合ったレベルで受験できます。

漢検を評価の基準の一つとしている大学・高校は多数あり、ビジネスシーンでも、新卒採用や社員教育などで重要視されています。

■問い合わせ／静岡リビング新聞社（土・日曜、祝日を除く、午前10時～午後5時）☎054(255)1231

◎力試しをしませんか？（準1級）

次の――線の漢字の読みをひらがなで記せ。

①検査の結果脊椎に炎症が見つかった。
②惑問形式の入門書を読む。
③湛然たる水の底に光るものがある。
④祖父は庚寅の年の生まれである。
⑤数多くの経典を請来した。
⑥隣の部屋から哀咽の声が聞こえる。

解答
①せきつい
②わくもん
③たんぜん
④こういん
⑤しょうらい
⑥あいえつ

出典「平成24年度日本漢字能力検定準1級 検定問題」